

国内では絶滅したコウノトリを
再び野生に復帰させる取り組み

コウノトリ野生復帰プロジェクト

特徴

国内では絶滅したコウノトリを再び自然界に戻す取り組み。

2007年7月には国内では46年ぶりに、自然界で孵化したコウノトリが巣立ちした
さらに、2012年5月には野外コウノトリの第3世代が孵化し、7月に巣立ちをした

「コウノトリが暮らせる環境は、人間にとっても豊かな環境である」との認識のもと
地域をあげた取り組みが進む(環境創造型農業、里山の整備、河川の自然再生など)

概要

(技術の原理・動作等)



はじめての試験放鳥(2005年9月)



ヒナの巣立ち(2008年6月)

1971年に兵庫県北部の但馬地域で国内最後の野生コウノトリが姿を消す。

1965年から人工飼育に取り組み、1989年に初の人工繁殖に成功。2002年には飼育コウノトリが100羽を超えた。

2005年、試験放鳥をはじめて実施。2007年7月には放鳥コウノトリのペアから生まれた幼鳥が国内の自然界では46年ぶりに巣立ちした。2012年には豊岡市だけでなく、京都府(京丹後市)でも野外コウノトリ第3世代が巣立つなど野生復帰の新たな展開があった。2013年2月時点で59羽(野生コウノトリ2羽除く)が但馬地域を中心に空を舞っている。

地域では、「コウノトリが暮らせる環境は、人間にとっても安全で安心できる豊かな環境である」との認識のもと住民や国・県・市が一体となって、農業に頼らない環境創造型農業や、多自然工法による河川の自然再生、里山の整備など、コウノトリと共生できる地域づくりに取り組んでいる。

導入実績

■ コウノトリの羽数(2013年2月28日現在) 飼育下90羽、自然界59羽

■ コウノトリ育む農法の栽培面積(単位:ha)

2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
0.7	1.8	50.5	111.8	197.7	253.5	319.8	356.8	391.2

兵庫県

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

企画県民部地域振興課

●TEL / 078-341-7711(内線2228) ●FAX / 078-362-3950 ●E-Mail / Seisaku_chiiki@pref.hyogo.lg.jp ●http://web.pref.hyogo.lg.jp

教育委員会社会教育課

●TEL / 078-341-7711(内線5799) ●FAX / 078-362-3927 ●E-Mail / syakaikyoiukuka@pref.hyogo.lg.jp ●http://web.pref.hyogo.lg.jp